

地域社会と緊密な連携を築く

学校・家庭・地域で連携し、子どもの成長を支援するPTA活動

稲沢市立高御堂小学校PTA

1 はじめに

本校は、昭和54年4月に開校し、令和5年度に開校45年を迎える。稲沢市の中央部に位置し、学区には稲沢市の玄関「名鉄国府宮駅」を含み、1200年以上の長い歴史をもつ奇祭「はだか祭」で有名な国府宮神社が近いところにある。開校間もない頃は児童数が800名を超える大規模校であったが、児童数が減少し、令和5年度は児童数182名の小規模校である。



【稲沢市立高御堂小学校校舎】

本校は、「心豊かな子 よく考える子 がんばる子」を校訓とし、「自らきたえ学ぶ子（知）」、「心豊かで手を取り合う子（徳）」、「たくましく力のかぎり進む子（体）」を目指す児童像として、教育活動が行われている。登下校時のPTAによる旗当番やスクールガードによる見守りボランティア、除草作業など、地域と保護者が協力的な地域である。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

児童の健全な育成のためには、学校・家庭・地域が連携して教育活動支援や児童支援に取り組んでいくことが大切である。しかし、コロナ禍によって、PTA活動や地域と連携した取組が様々に制限され、PTA活動や地域での活動に対して考え方が多様になるなど、コロナ禍から通常の生活に戻りつつある今、新たに学校・家庭・地域がどのように連携してPTA活動を進めていくか見直す時期に来ている。

そこで、これからのPTA活動が児童の福祉増進並びに学校教育の振興に寄与することを目的として、地域と連携しながら継続できるPTA活動のあり方を研究のねらいとして取り組むこととした。

(2) 研究の組織

本校のPTA組織は、PTA役員4名（会長1名、副会長2名、庶務・会計1名）と研修・保健委員会6名、地区委員会9名

の計19名で構成されている。なお、地区委員会より会計監査委員として2名を選出している。研修・保健委員会は学年委員で構成され、PTA研修会や学校保健委員会、PTAカフェ等を主な活動としている。地区委員会は6地区から9名が選出され、旗当番の分担、通学班との連絡調整、スクールガードとの連絡調整等を行っている。また、学校運営協議会にもPTA役員や地域代表(スクールガード等)も参加し、地域・PTA・学校と課題を共有したり、協力して活動したりしている。

3 実践活動の概要

(1) 登下校の安全を図る取組 ～見守り活動～

登下校時の児童の安全を確保するために、スクールガードの方々に付き添い登下校をしていただいている。現在は、3地区で約20名の方にボランティア活動をしていただいている。毎年2月には、PTA地区委員とスクールガードが集まり、登下校の様子や危険箇所等について意見交換を行い、安全への意識向上を図っている。また、本会には稲沢警察署の生活安全課の方にも参加していただき、スクールガードの方が日頃の交通安全について迷っていることを質問したり、要望などを伝えたりする機会としている。PTA・地域・警察と連携して、登下校の安全上の課題を共有し、児童の登下校の安全を図っている。

〈警察の方への質問・要望〉

- ・ 自転車と歩行者の通行が分離されていない歩道での自転車の通行は、どのようになっているのか。
- ・ 三叉路でウィンカーを出さずに曲がる車が多い。また、自転車も急に曲がってきて怖い思いをしたことがある。重点的に、交通立ち番をしていただけないか。
- ・ 押しボタン信号が早く変わるため、児童に早く渡るよう声をかけている。もし転んでしまったらと考えると怖くなる。

PTAの活動としては、登下校時に横断歩道を中心に交通立ち番を交代で行っている。そこでも、スクールガードの方と協力して、特に信号を渡る際は児童に声をかけながら、交通安全を図っている。当番については地区委員が中心となり、地区ごと、学期ごとに保護者の当番予定を割り振っている。また、児童の安全を守るとともに、挨拶活動の一環としても一役買っている。

(2) 登下校の安全を図る取組 ～環境整備～

本校の児童は国府宮駅周辺から通学している児童が多い。したがって線路沿いを通学路としている通学班もある。線路沿い

は、通勤路の抜け道として利用している自動車も多く、これまで事故はないものの、危険性の高い場所として認識があった。そこで、学校運営協議会やP T Aの全委員会の場でも話題に挙げ、地域・保護者ともに共通の課題意識をもち、線路沿いに歩行者専用のグリーンベルトを設置してもらえるよう地域の方から市に継続して要望したところ、今年度グリーンベルトを設置してもらえることとなり、児童の安全が図られるようになった。

(3) 会員相互の交流を図るP T Aカフェの取組

6月に行った学校公開日の際に、P T A会員相互の交流を図ることをねらいとして、「P T Aカフェ」の取組を行った。また、日頃P T A役員には改めて言いづらい内容を気軽に相談できることも、ねらいの1つとしている。したがって、会場には、P T A役員及び学年委員が交代制で常駐するようにした。



【P T Aカフェ】

当日は、午前10時から11時30分に図書室を開放して、コーヒーやお茶などの飲み物を用意し、セルフサービスで飲み物を飲みながら歓談するなど、アットホームな雰囲気にも包まれていた。参加者は延べ73名で、中には未就学児を連れた会員もおり、ほっとできる憩いの場となった。今後、スクールガードの方などの地域の方にも公開日を参観していただき、P T Aカフェを地域の方にも開放したいと考えている。

(4) みんなで行う環境整備（除草作業）

6月に行った学校公開日の4時間目に環境整備（除草作業）の時間を設け、会員に協力を呼びかけ、除草作業を実施した。当日は、地区別に担当場所を分け、全校児童と9割を超える会員の参加の下、親子で一緒に除草作業に取り組んだ。



【親子除草作業】

また、区長さんを通じて地域の方にも協力依頼を呼びかけてもらい、前日に草刈り機を持参していただき除草作業を予定していたが、雨天のため中止となった。

「協力します」という声を10名程度の方から事前にいただき
ており、地域の方の協力も得られる折角の機会であったが、残
念な結果となってしまった。

(5) 運動会のためのテント設営

運動会の際は、熱中症対策のため、児童の控え席に各地区が
所有しているテントを借りて設置している。運動会前日に、各
地区の方（区長、体育振興会、保護者等）が学校に搬入し、教員
も手伝いながら設置している。片付けにおいても、各地区の方
の手によって撤去していただき、大変助かっている。

(6) 地域の人材を生かしたPTA研修会

会員の研修と交流を図る目的で
毎年12月に行っている。昨年度
はしめ縄飾り作りを開催した。地
域の方を講師に招き、約20名が
参加した。90分の講座で、参加者
は真剣に制作に取り組みながら、
分からない点は聞いたり、教えあ
ったりするなど和気藹々とした雰
囲気の中で、それぞれがオリジナ
リティにあふれた作品を作ること
ができた。地域の方を講師に招いたことにより、地域の人材を
生かしながら交流を深められるよい機会となった。



【しめ縄飾り作り】

4 おわりに

今年度のPTA活動は、コロナ禍によって昨年度まで制限されて
いた活動を徐々に復活してきた。そこでは、以前の形にそのまま戻
すのではなく、改めて学校・家庭・地域が連携して児童と学校を支援
することに意義があることを確認し、今の時代に合うように考えて
それぞれの活動を再開してきた。例えば、児童が安全に登下校でき
るように保護者と地域がそれぞれ意見を出し合ったり、旗当番やス
クールガードも出来る範囲での活動にしたりした。また、除草作業
についても、区長さんを通じて地域の方に呼びかけてもらうなど、
それぞれの都合に合わせて、児童支援や学校に協力してもらえら
うにした。このように、誰かに責任や負担がのしかかるのではなく、
「みんなで」や「お互いさま」の気持ちをPTA及び児童の成長にか
かわるすべての人がもちながら今後も地域と連携し、よりよいPT
A活動の在り方を模索していきたい。